

## 合併市町村基本計画の執行状況について【平成23年度】

(河内地域における主要事業)

①	道路新設改良事業	1
②	公共下水道整備事業	2
③	地域自治拠点整備事業	3
④	小・中学校校舎整備事業	4
⑤	小・中学校体育館整備事業	5
⑥	小・中学校プール整備事業	6
⑦	中央公民館改修整備事業	7
⑧	総合運動公園整備事業	8
⑨	岡本駅西土地区画整理事業	9
⑩	岡本駅前周辺整備事業	10
⑪	農村公園等整備事業	11
⑫	農道整備事業	12

事業名：① 道路新設改良事業【河内】

事業概要	都市間及び新市における地域間交通の円滑化や安全性・利便性を確保するため、市民が日常的に利用する幹線市道や生活道路などを整備する。
答申内容	<p>計画されている8路線のうち2路線の整備が完了し、残り6路線のうち4路線についても事業が計画的に進められております。</p> <p>特に、通学路となっている市道20042号線については、歩道を設置するなど安全性に配慮した整備が早期に完了することを期待しています。</p> <p>また、未着手路線につきましては、今後、必要性を十分に検討することを求めます。</p> <p>なお、合併市町村基本計画に掲げられた上記路線以外の整備が必要な路線については、全市の均衡ある発展の中で十分検討する必要があります。</p>

●実施に向けた考え方

旧町の継続事業を優先的に整備し、効果などを見極めながら推進する。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	計画している8路線のうち、市道20216(20年度完了)、20299(22年度完了)、20271(23年度完了)号線の3路線が完了し、残り5路線の内、現在事業着手している4路線について優先的に整備を進めていく。
目標値設定の考え方	幹線道路及び生活道路の整備については、地域性にも配慮しながら、総合計画実施計画に計上して計画的に整備を進める。

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

	計画路線	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	市道20216号線(H20完了) 市道20299号線(H22完了) 市道20271号線(H23完了) 市道20042号線(取組中) 市道20061号線(取組中) 市道20065号線(取組中) 市道20227号線(取組中) 市道20354号線(未着手)	市道20042号線 用地取得ほか	市道20042号線 用地取得ほか ※20299号線完了	市道20042号線 設計業務ほか ※20271号線完了
予算額	—	158百万円	32百万円	12百万円
累計	—	418百万円	450百万円	462百万円

●平成24年度取組み予定及び予算措置

【当初予算額 146百万円】

- ・市道20042号線用地買収、物件補償
- ・市道20061、20065号線改良工事

**事業名：② 公共下水道整備事業【河内】**

<b>事業概要</b>	生活排水の適切な処理による市民の快適な生活環境の確保や公共用水域の水質の保全を図るため、地域の実情に応じた汚水処理施設等を整備する。
<b>答申内容</b>	<p>公共下水道整備事業は、快適な住環境の維持向上と、河川の水質保全を図るうえで必要不可欠な事業です。</p> <p>毎年、計画的に整備が進んでおり、普及率も着実に伸びております。</p> <p>今後とも、計画的な整備を行うとともに、公共下水道に接続可能な地域住民に対する接続に向けての広報が必要です。</p>

**●実施に向けた考え方**

合併協定書に基づき、平成21年3月に公共下水道全体計画の見直しを行い、併せて事業認可を変更した。今後は、変更した事業認可区域内の整備を進めるため、事業の優先度や効果等を精査した上で、今回計上した実施計画に基づき、計画的に進めていく。

**●目標値及び目標値設定の考え方**

<b>目標値</b>	事業認可区域面積：528.0ha（整備予定面積）
<b>目標値設定の考え方</b>	<p>事業認可区域面積は、事業認可において、整備を予定している区域面積であることから、目標値とする。</p> <p>ただし、事業認可区域面積は事業認可の変更に伴い、区域面積の変更がある。</p>

**●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）**

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>河内水再生センター増設工事</li> <li>奈坪中継ポンプ場建設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>河内水再生センター増設工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事</li> <li>河内水再生センター増設工事</li> </ul>
<b>予算額</b>	835百万円	924百万円	674百万円
<b>実績累計 (進捗率)</b>	326.9ha (61.9%)	343.8ha (65.1%)	ha (%)

※進捗率＝目標値の事業認可区域面積528.0haに対する実績累計の面積の割合

**●平成24年度の取組み予定及び予算措置**

【当初予算額 346百万円】

- 公共下水道污水管渠築造工事（下岡本町ほか） 整備予定面積 4ha
- 特定環境保全公共下水道污水管渠築造工事（中岡本町ほか） 整備予定面積 9ha

事業名：③ 地域自治拠点整備事業【河内】

事業概要	住民サービスの提供体制の充実および地域住民の活動スペースを確保するため、新たに地域自治センターを整備する。
答申内容	<p>地域自治拠点整備については、まちづくりと人づくりを一体的に進めるとともに、施設や駐車場の効率化を図るため、自治センターと生涯学習センターを一体的に整備することが望ましいと考えます。</p> <p>施設の機能・規模・位置などを整理するにあたっては、地域住民の利便性の高い施設とする必要がありますので、地域住民の意見を踏まえ、計画を策定する必要があります。</p> <p>今回の震災により大きな被害を受け、安全性の確保の点からも、早急に、具体的な整備に向けて、取り組むことが必要です。</p>

<b>●実施に向けた考え方</b>	
地域自治制度の検証等を踏まえ、地域自治センターに必要な機能や組織体制、施設規模等を整理したうえで、整備を行う。	
<b>●目標値及び目標値設定の考え方</b>	
目標値	河内地域自治センターの整備
目標値設定の考え方	地域行政機関の地域のまちづくりの拠点としての機能を十分発揮できるよう、老朽化への対応を行うとともに、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、自治センターと生涯学習センターの一体的整備を進める。
<b>●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）</b>	
年度	事業内容
平成21年度	・まちづくりとひとづくりの一体的な推進体制を全市的に整備していく方針を決定
平成22年度	・方針を踏まえ、地域行政機関の機能等について検討
平成23年度	・「第2次宇都宮市地区行政推進計画」に、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備を位置づける
<b>●平成24年度取組み予定及び予算措置</b>	
【当初予算額 一円】	
地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備に向けた、具体的な整備内容についての検討	

事業名：④ 小・中学校校舎整備事業【河内】

事業概要	地震発生時の生徒の安全確保や地域住民の応急避難場所の確保などを図るため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の校舎整備を進める。
答申内容	<p>地区内の対象5校のうち2校の耐震補強工事が終了し、残りの3校についても平成27年度までに校舎の耐震化が行われる予定です。今後についても、施設の整備を計画的に進める必要があります。</p> <p>また、安心して快適な教育の環境づくりのためには、被災した施設等の復旧に取り組む必要があります。</p>

●実施に向けた考え方

- ・校舎の安全性の確保や機能復旧など、物理的な老朽化への対応、さらにバリアフリー化や耐震性を確保していくため、校舎の大規模改造を実施していく。
- ・耐震化については、市耐震改修促進計画において平成27年度までに学校施設の耐震化を完了することとしている。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	校舎耐震化（実施対象校5校：田原小，岡本小，岡本西小，古里中，田原中）
目標値設定の考え方	平成27年度までに学校施設全ての耐震化を実施。

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	・校舎耐震2次診断 (岡本小学校，岡本西小学校，古里中学校，田原中学校)	・古里中学校校舎耐震補強工事及び工事監理	・岡本西小学校校舎耐震補強実施設計
予算額	32百万円	226百万円	10百万円
実績累計 (進捗率)	1校〔田原小〕 (20%)	2校〔田原小・古里中〕 (40%)	2校〔田原小・古里中〕 (40%)

※進捗率＝目標値の校舎耐震化実施対象校5校に対する，校舎耐震工事完了校の割合

●平成24年度の取組み予定及び予算措置

・岡本小学校 校舎耐震補強工事实施設計	【当初予算額 7百万円】
---------------------	--------------

※田原小学校 平成20年度耐震工事完了  
古里中学校 平成22年度耐震工事完了

事業名：⑤ 小・中学校体育館整備事業【河内】 ※平成22年度事業完了

事業概要	地震発生時の生徒の安全確保や地域住民の応急避難場所の確保などを図るため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の体育施設の整備を進める。
答申内容	<p>体育館整備事業は、平成22年度の田原中学校の耐震補強工事をもって完了しました。</p> <p>なお、体育館などの公共施設は、地域住民の避難所として十分機能するよう、検討していく必要があります。</p>

<b>●実施に向けた考え方</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館は地震発生時に児童生徒等の安全を確保するとともに、地域住民の緊急的な避難場所としての役割を果たすことから、早急に耐震化を実施していく。</li> <li>・市耐震改修促進計画において平成27年度までに学校施設の耐震化を完了することとしている。</li> <li>・特に、耐震化の緊急性の高い学校（2次診断でI s 値0.3未満）については、優先的に進めており、平成22年度中には校舎及び体育館の補強工事を完了する。それ以外の施設についても、緊急性の高い順に優先順位をつけ、平成27年度までの完了を目標に、計画的に整備を進めていく。</li> </ul>			
<b>●目標値及び目標値設定の考え方</b>			
目標値	体育館耐震化（実施対象校2校：岡本西小，田原中）		
目標値設定の考え方	平成27年度までに学校施設全ての耐震化を実施。		
<b>●事業完了（平成22年度）までの進捗状況</b>			
	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業内容	・岡本西小学校体育館耐震補強実施設計	・岡本西小学校体育館耐震補強工事 ・田原中学校体育館耐震補強耐震診断及び実施設計	・田原中学校体育館耐震補強工事及び工事監理
予算額	4百万円	50百万円	90百万円
実績累計 (進捗率)	1校 (10%)	1校〔岡本西小〕 (50%)	2校〔岡本西小・田原中〕 (100%) ※整備完了
※進捗率＝目標値の体育館耐震化対象校2校に対する体育館耐震補強工事			

※岡本西小学校 平成21年度耐震工事完了

田原中学校 平成22年度耐震工事完了

事業名：⑥ 小・中学校プール整備事業【河内】

事業概要	体育の授業や部活動など教育環境の充実を図るため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、地域内の小・中学校の体育施設の整備を進める。
答申内容	衛生面や安全面から、老朽化した施設の整備・改修を進めるとともに、今後、計画的に整備していくことが必要です。

●実施に向けた考え方

各学校施設の状況，必要性に応じ，予算の範囲内で順次対応。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	—
目標値設定の考え方	—

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	・田原西小学校プール 塗装	—	・田原小学校プールろ 過設備及び給排水 ポンプ改修
予算額	4百万円	—百万円	10百万円

●平成24年度 of 取組み予定及び予算措置

・岡本西小学校プール塗装 【当初予算額 4百万円】

事業名：⑦ 中央公民館改修整備事業【河内】

事業概要	市民の多様な学習ニーズに対応するとともに、学んだことを個性と魅力ある地域づくり活動に生かすことのできる場・機会を提供するため、老朽度や耐震性などを踏まえながら、生涯学習センターを整備する。
答申内容	<p>河内生涯学習センター（旧中央公民館）では、地域住民をはじめ市民の生涯学習の場として、また、住民相互の情報交換の場などとして活発な活動が行われております。</p> <p>同センターの整備に当たっては、自治センターとの一体化を図り、河内地域の特性を生かした地域活動の拠点となるような施設が望ましいと考えます。</p> <p>そのため、地域住民の意見を踏まえつつ、十分な検討を行い、生涯学習センターとしての機能を発揮した利用し易い、充実した施設となるよう整備計画を早期に策定することが必要です。</p>

●実施に向けた考え方

河内生涯学習センターに必要な機能や組織体制、施設規模等を整理したうえで、整備を行う。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	生涯学習センターの整備
目標値設定の考え方	地域行政機関の地域のまちづくりの拠点としての機能を十分発揮できるように、老朽化への対応を行うとともに、まちづくりと人づくりの一体的推進を図るため、自治センターと生涯学習センターの一体的整備を進める。

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

年度	事業内容
平成21年度	・ひとづくりとまちづくりの一体的な推進体制を全市的に整備していく方針の決定
平成22年度	・方針を踏まえ、必要な機能及び規模等について、関係部局と検討
平成23年度	・「第2次宇都宮市地区行政推進計画」に、地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備を位置づける

●平成24年度の取組み予定及び予算措置

【当初予算額 一円】

地域自治センターと生涯学習センターの一体的整備に向けた、具体的な整備内容についての検討



事業名：⑧ 総合運動公園整備事業【河内】

※平成21年度事業完了

事業概要	すべての市民が目的に応じて、身近なところでスポーツに親しめるようにするため、河内総合運動公園の整備を進める。
答申内容	総合運動公園整備事業は、平成21年度に完了し、平成22年10月から多目的運動広場の供用が開始されました。 なお、今後とも、憩いの場として、安全性や地域住民のニーズ等にも配慮し、利用しやすい環境づくりに努める必要があります。

●実施に向けた考え方

旧河内町が、平成19年1月に県から事業認可を再取得した整備内容について、旧町の計画を前倒しし、平成21年度中に整備する。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	多目的広場整備工事 5.79ha (公園総面積 12.8ha)
目標値設定の考え方	河内総合運動公園の完成を目指し整備工事を行うことから、未整備面積の全てを目標値とする。

●事業完了（平成21年度）までの進捗状況

	平成20年度	平成21年度	平成22年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造成工事 (移植, 駐車場整備, 園路広場等)</li> <li>・電気設備工事 (照明塔本体等)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・造園工事 (園路整備, バックネット整備, グランド整備等)</li> <li>・電気設備工事 (放送設備等)</li> <li>・機械設備工事 (散水設備)</li> </ul>	《21年度事業完了》 ・多目的運動広場供用開始 (10月) 【河内総合運動公園全体を供用開始】
予算額	250百万円	248百万円	一百万円
実績累計 (進捗率)	7,296百万円 (96.7%)	7,544百万円 (100%) ※当初計画事業の整備完了	一百万円 (-)

※進捗率＝総事業費7,544百万円に対する実績累計の金額の割合

**事業名：⑨ 岡本駅西土地区画整理事業【河内】**

<b>事業概要</b>	安全で快適な魅力ある都市環境づくりや機能的な市街地の形成を図るため、岡本駅西地区における土地区画整理事業を進める。
<b>答申内容</b>	岡本駅西土地区画整理事業については、大規模な長期事業ではありますが、精力的な取り組みにより、事業が順調に進められております。 今後とも、地域住民の意見を取り入れながら、計画的な整備を進めるとともに、事業の案内・説明掲示を増設するなど、事業の目的や効果を市民に明示していく必要があります。

**●実施に向けた考え方**

- ・地区住民の意向を把握しながら、仮換地指定の拡大を図り、広範囲にわたる複数箇所での建物等移転及び工事を行う。
- ・国庫補助等安定的な財源確保に努めると共に、事業の効果的、効率的な推進を図る。
- ・事業の目的や整備効果について、戸別の仮換地交渉や建物移転交渉により明示すると共に、区画整理だよりの発行や出前相談会の開催を通し、地域住民に広く周知を行っていく。

**●目標値及び目標値設定の考え方**

<b>目標値</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業費（26,000百万円）</li> <li>・事業進捗率（事業費ベース） 40.5%⇒59.6%【平成26年度まで】</li> </ul>
<b>目標値設定の考え方</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮換指定率 53.4%⇒88.1%【 〃 】</li> <li>・建物移転率 33.0%⇒51.6%【 〃 】</li> <li>・公共施設整備率 25.0%⇒46.1%【 〃 】</li> </ul> <p>（岡本駅西口広場及び岡本駅西線の整備を優先的に進める）</p>

**●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）**

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮換地指定(4.5ha)</li> <li>・建物移転(55棟)</li> <li>・道路築造(1,552m)</li> <li>・整地造成(9,359㎡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮換地指定(4.0ha)</li> <li>・建物移転(61棟)</li> <li>・道路築造(369m)</li> <li>・整地造成(18,969㎡)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮換地指定(4.0ha)</li> <li>・建物移転(46棟)</li> <li>・道路築造(491m)</li> <li>・整地造成(9,638㎡)</li> </ul>
予算額	1,460百万円	1,193百万円	1,356百万円
実績累計 (進捗率)	7,970百万円 (30.7%)	9,163百万円 (35.3%)	10,520百万円 (40.5%)

※進捗率＝目標値の事業費26,000百万円に対する実績累計の金額の割合

**●平成24年度の取組み予定及び予算措置**

【当初予算額1,156百万円】

仮換地指定予定（約45,000㎡）、建物移転補償（46棟）

道路築造工事（約467m）、整地工事（約12,700㎡）

事業名：⑩ 岡本駅前周辺整備事業【河内】

事業概要	岡本駅周辺地区において、地域交流拠点にふさわしい自立性の高い地域の「顔」を形成するため、駅西口駅前広場の整備とあわせながら、駅関連施設の整備などを推進し、交通結節機能の強化を図る。
答申内容	<p>岡本駅前周辺地区は、都市計画マスタープラン全体構想において、地域交流拠点の一つに位置づけられていることから、早急な整備計画の策定が必要です。</p> <p>また、整備計画策定にあたっては、この地域の活性化が図られるよう、地域住民や利用者の意見を取り入れながら、推進されることを望みます。</p>

●実施に向けた考え方

東西自由通路、橋上駅舎や東西駅前広場整備等の岡本駅周辺整備については、駅東西を一体的に捉えながら検討していくことが必要と考えており、岡本駅西土地区画整理事業の進捗状況や都市計画マスタープランを踏まえながら、岡本駅の交通結節機能の強化に向け、JR東日本を始めとする関係機関と協議調整を行いながら事業を推進していく。

なお、駅舎や東西自由通路については、今後、JR東日本との協議が順調に進めば、平成25年度中には整備工事に着手し、駅西口広場の整備計画とあわせ早期の供用開始を目指す。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	駅関連施設（自由通路・橋上駅舎）の整備
目標値設定の考え方	本市北東部地域の玄関口に相応しい駅関連施設とするため、岡本駅西土地区画整理事業による駅西口広場の整備とあわせ、東西連絡機能の確保や駅機能の拡充など、交通結節機能の強化を図る。

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅関連施設の整備内容の具体化に向けた調査検討</li> <li>・JR東日本との協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅関連施設の整備内容の具体化に向けたJR東日本との協議</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東西自由通路・橋上駅舎の基本設計</li> <li>・地域住民等へヒアリング調査を行い駅周辺地域の整備方針の作成と東西駅前広場の基本設計</li> </ul>

●平成24年度取組み予定及び予算措置

- 【当初予算額 86.4百万円】
- ・東西自由通路・橋上駅舎整備に関する実施設計【80百万円】
  - ・駅東口広場整備等詳細設計【6.4百万円】
- 《H23年度からの継続：東西自由通路・橋上駅舎整備に関する基本設計【37百万円】》

事業名：⑪ 農村公園等整備事業【河内】

事業概要	地域住民の連帯感を高めるとともに地域の活性化を促進するため、下田原南部地区の圃場整備事業地内に、住民交流の場となる農村公園などを整備する。
答申内容	農村公園等の整備については、利用方法や管理方法について、地元の自治会と協議を行いながら、その必要性を含め検討することが必要です。

●実施に向けた考え方

農業集落に係る農村公園の整備については、住民の健康維持・増進及び地域の連帯感を醸成し、住みよい集落づくりの促進を図るものであることから、地元との協議の実施やワークショップ等を開催しながら住民参加型の計画作りを進めていく。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	農村公園等の整備（下田原南部2ヶ所）
目標値設定の考え方	—

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

年度	事業内容
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下田原南部土地改良区（以下「土地改良区」という。）との打合せを実施（地元自治会への意向調査について）（7月）</li> <li>・意向調査の結果から、各自治会の考えを把握（8月）</li> <li>・意見のまとまった自治会と土地改良区の2者との打合せを実施（広場・駐車場・ビオトープ・農園などの設置要望有り）（11月）</li> </ul>
平成23年度	農村公園整備のあり方等について、土地改良区等との協議を実施。（2月）

●平成24年度の実施予定及び予算措置

【当初予算額 一円】

引き続き、農村公園整備のあり方等について、土地改良区等との協議を実施。

事業名：⑫ 農道整備事業【河内】

事業概要	農業生産性の向上や農産物流通の合理化，また，地域住民の社会生活環境の改善を図るため，農道の整備を進める。
答申内容	重要な産業である農業の生産性の向上と農業経営の合理化のため，農道整備が順調に進められております。 今後も計画的に整備が推進されることを望みます。

●実施に向けた考え方

農道整備については，毎年度，一定の額を予算化し，全市域を計画的に整備しており，今後も順次整備することを予定している。

●目標値及び目標値設定の考え方

目標値	農道の整備（下ヶ橋河原，下田原南部）
目標値設定の考え方	—

●平成23年度までの進捗状況（平成24年3月31日見込）

	平成21年度	平成22年度	平成23年度
事業内容	農道舗装工事 (640m)	農道舗装工事 (160m)	農道舗装工事 (285m)
予算額	13,000千円	3,600千円	5,600千円
実績	808.5m	713.8m	644m

●平成24年度の取組み予定及び予算措置

【当初予算額 6.1百万円】

農道舗装工事

県単：下田原1地区（延長＝180m）4百万円

市直：下田原地区（延長＝120m）2.1百万円